



PART1



玖波中学校

在校生代表の星野和幸さん「先輩方が築き上げた団結力を受け継いでいきます」卒業生代表の金行ころろさん「自分たちが誇りに思える玖波中学校を作ってください」

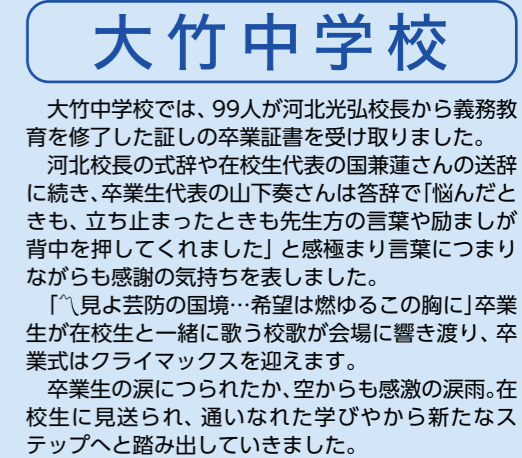
3/6
FRI

小方中学校



市内の中学校で卒業式が挙行され、3校195人が思い出の詰まった母校を巣立ちました。
玖波中学校は19人が卒業。小田大介校長から一人一人に手渡された卒業証書は、自分たちで手すきした大竹和紙を使ったものです。式辞では、「どんな状況でも積み重ねてきた自分を信じて挑戦し続けてください」と新たな道へ進む卒業生を激励しました。
小方中学校は77人が卒業。式の後は、2クラス合同で最後の学活を行いました。一人一人が中学校生活の思い出や先生・保護者への感謝の言葉を述べ、涙ぐむ姿も見られました。あいにくの雨での挙行となった卒業式でしたが、学活を終えた卒業生たちは、それを晴らすかのような笑顔を浮かべていました。

式を終え、教室に戻る卒業生を廊下で拍手をして迎える小学生。最後の学活では、お世話になった先生に卒業生から花束が贈られていました。



大竹中学校

大竹中学校では、99人が河北光弘校長から義務教育を修了した証しの卒業証書を受け取りました。
河北校長の式辞や在校生代表の国兼蓮さんの送辞に続き、卒業生代表の山下奏さんは答辞で「悩んだときも、立ち止まったときも先生方の言葉や励ましが背中を押してくれました」と感極まり言葉につまりながらも感謝の気持ちを表しました。
「見よ芸防の国境…希望は燃ゆるこの胸に」卒業生が在校生と一緒に歌う校歌が会場に響き渡り、卒業式はクライマックスを迎えます。
卒業生の涙につられたか、空からも感激の涙雨。在校生に見送られ、通い入れた学びやから新たなステップへと踏み出していました。



イベントなどで撮影した写真は、「広報おたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用のほか、マスメディアなどに提供することがあります。